

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2007年2月16日（当初設定日）から無期限です。 | |
| 運用方針 | 質の高いユーロ通貨採用国の国債に投資し、安定的かつより優れた分配金原資の獲得を目的として運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 質の高いユーロ通貨採用国の国債 |
| 運用方法 | <p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、原則として最高格付*のユーロ通貨採用国の国債に投資し、利金等収益の確保と売買益の獲得を目指します。 ※最高格付とは、ユーロ通貨採用国内での最高格付を意味します。各国の格付は信用格付業者等が付与した中での最良の格付を参考とします。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> | |
| 主な投資制限 | 当ファンド | <p>①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権を行使したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> |
| | マザーファンド | <p>①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、利子等収益および基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> | |



PICTET

ピクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド (SMA専用)

運用報告書(全体版)

第31期

決算日：2022年5月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ピクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド (SMA専用)」は、2022年5月25日に第31期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

(2022年7月1日に「ピクテ投信投資顧問株式会社」より商号変更)

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

■最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 参考指数 | | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 純資産総額 |
|------------------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | (分配落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 27期(2020年5月25日) | 11,228 | 0 | △ 1.5 | 12,446 | △ 1.3 | 96.3 | △ 0.7 | 300 |
| 28期(2020年11月25日) | 11,958 | 0 | 6.5 | 13,292 | 6.8 | 97.1 | — | 72 |
| 29期(2021年5月25日) | 12,271 | 0 | 2.6 | 13,701 | 3.1 | 96.0 | — | 48 |
| 30期(2021年11月25日) | 12,082 | 0 | △ 1.5 | 13,506 | △ 1.4 | 96.7 | — | 26 |
| 31期(2022年5月25日) | 11,429 | 0 | △ 5.4 | 12,926 | △ 4.3 | 95.5 | — | 22 |

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」および「債券先物比率」は、実質比率を記載しています。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 参考指数は、FTSE EMU国債指数AAAを委託者が円換算し、設定日（2007年2月16日）を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券組入比率 | 債券先物比率 |
|----------------|-----------------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | | | 騰落率 | | 騰落率 | | |
| 第31期 | | 円 | % | | % | % | % |
| | (期首)2021年11月25日 | 12,082 | — | 13,506 | — | 96.7 | — |
| | 11月末 | 12,101 | 0.2 | 13,526 | 0.1 | 96.9 | — |
| | 12月末 | 12,130 | 0.4 | 13,565 | 0.4 | 96.5 | — |
| | 2022年1月末 | 11,850 | △ 1.9 | 13,277 | △ 1.7 | 97.0 | — |
| | 2月末 | 11,619 | △ 3.8 | 13,048 | △ 3.4 | 97.7 | — |
| | 3月末 | 11,851 | △ 1.9 | 13,348 | △ 1.2 | 96.6 | — |
| | 4月末 | 11,598 | △ 4.0 | 13,072 | △ 3.2 | 97.0 | — |
| (期末)2022年5月25日 | 11,429 | △ 5.4 | 12,926 | △ 4.3 | 95.5 | — | |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」および「債券先物比率」は、実質比率を記載しています。

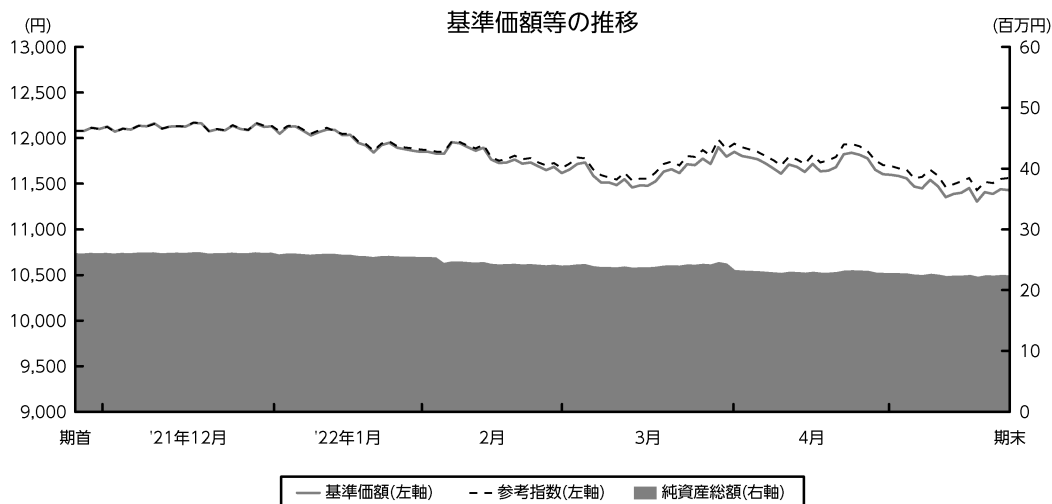
(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注4) 参考指数は、FTSE EMU国債指数AAAを委託者が円換算し、設定日（2007年2月16日）を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、5.4%の下落となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

- 下落↓ ・実質組入国債の価格が下落したこと
- 上昇↑ ・円に対してユーロが上昇したこと
- 上昇↑ ・実質組入国債からの利金収益

2. 投資環境

- ・ユーロ圏国債市場は、期首から2021年12月中旬までは欧州での新型コロナウイルス感染拡大懸念から上昇（利回りは低下）したものの、それ以降2022年2月中旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）がコロナ危機対応の資産購入の特別枠（PEPP）を2022年3月で終了させ、その後段階的に資産購入政策を縮小する方針を示したことなどから下落（利回りは上昇）しました。2月下旬には、ロシアのウクライナ侵攻などから上昇（利回りは低下）する局面もありましたが、その後はインフレ高進を受けてECBが金融引き締め姿勢を強めたことなどが嫌気され、下落（利回りは上昇）となりました。期を通じてみると、ユーロ圏国債市場は下落（利回りは上昇）しました。
- ・為替市場では、期首から2021年12月上旬まで、新型コロナウイルスの変異種オミクロン株への懸念、ECBによる金融緩和策の長期化期待などから、円高・ユーロ安が進行しました。しかし、12月中旬にECBが段階的に資産購入政策を縮小する方針を示したことなどから2022年1月中旬まで円安・ユーロ高となりました。その後は3月初旬にかけて、ロシアによるウクラ

イナ侵攻などから円高・ユーロ安となりました。3月中旬から期末にかけては、ECBがインフレ対応を重視する姿勢を示したことを背景に、金融引き締め策への警戒感が強まった一方、日銀は緩和的な金融政策の姿勢を維持したことで、日欧の金融政策の違いが意識され、円安・ユーロ高が進行しました。期を通じてみると、円安・ユーロ高が進行しました。

3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジは行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

主に最高格付のユーロ通貨採用国の国債に投資を行ってまいりました。

◇国別組入比率

【期首】

| 国名 | 組入比率 |
|------|-------|
| ドイツ | 69.8% |
| オランダ | 27.4% |



【期末】

| 国名 | 組入比率 |
|------|-------|
| ドイツ | 70.2% |
| オランダ | 25.8% |

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

組入銘柄は、すべてAAA格相当の格付が付されています。

4. 収益分配金

当期の収益分配は、利子等収益および基準価額の水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかつた留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第31期 |
|-----------|--------------------------------|
| | 自 2021年11月26日 至 2022年 5月25日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | — |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 8,351 |

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

欧州では、ユーロ圏の成長は減速傾向とみられます。ロシアによるウクライナ侵攻やインフレ率の上昇が消費者マインドを悪化させているとみられます。しかしながら、ECBは景気に配慮しつつも、エネルギー価格高騰によるインフレへの対応を重視する姿勢を強めました。このような中、ECBの金融政策は今後のインフレ動向に左右される展開とみられ、独10年国債利回りは、今後の金融政策の動向を織り込みながら変動性が高い状況が継続するとみています。

(2) 投資方針

ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて質の高いユーロ通貨採用国の国債に投資してまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

<マザーファンド>

ユーロ圏の経済動向を注視しながら、ユーロ通貨採用国の最高格付国債に厳選投資を継続し、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指してまいります。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 (2021年11月26日~2022年5月25日) | | 項 目 の 概 要 |
|--------------------|---------------------------------|-------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 平均基準価額 | 11,858円 | — | 期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。 |
| (a) 信託報酬 （投信会社） | 29円 (13) | 0.245% (0.109) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| （販売会社） | (13) | (0.109) | |
| （受託会社） | (3) | (0.027) | |
| (b) その他費用 | 4 | 0.035 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用 |
| （保管費用） | (1) | (0.008) | |
| （監査費用） | (3) | (0.027) | |
| （その他） | (0) | (0.000) | |
| 合 計 | 33 | 0.280 | |

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額の円未満は四捨五入しています。

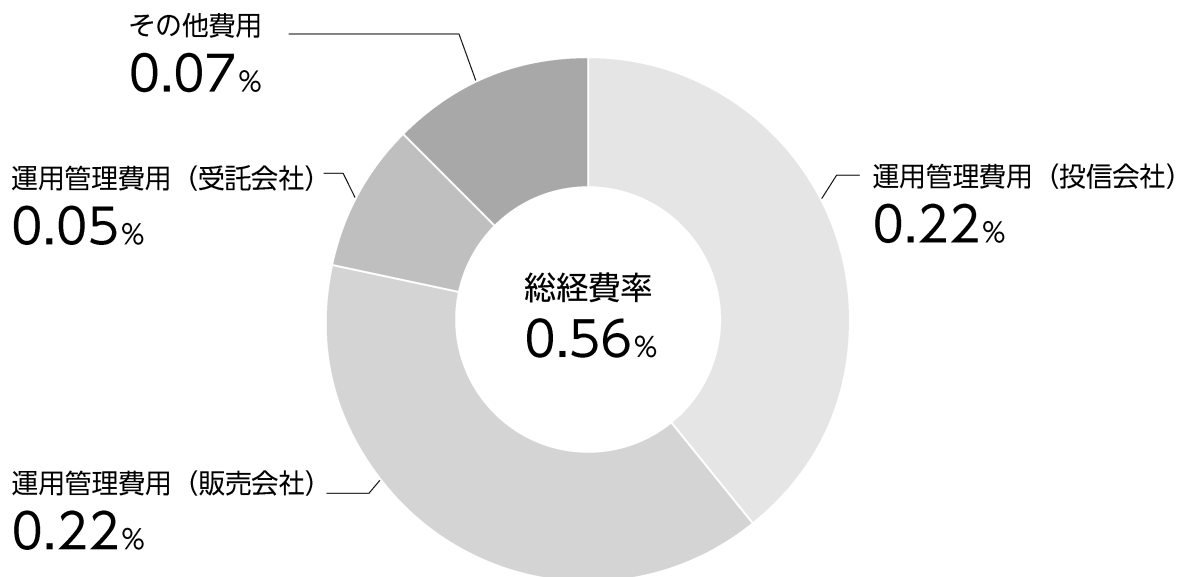
(注3) その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年11月26日から2022年5月25日まで)

| | 設 定 | | 解 約 | |
|---------------------------|-----|-----|-------|-------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千□ | 千円 | 千□ | 千円 |
| ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド | - | - | 1,099 | 2,300 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における主要な売買銘柄 (2021年11月26日から2022年5月25日まで)

公社債

| 買 付 | | 売 付 | |
|-----|-----|---|---------|
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| | 千円 | | 千円 |
| - | - | 7.5% NETHERLANDS GOVT 23/1/15(ユーロ・オランダ) | 278,082 |
| | | 6.5% DEUTSCHLAND 27/7/4(ユーロ・ドイツ) | 132,476 |
| | | 4.75% DEUTSCHLAND 40/7/4(ユーロ・ドイツ) | 124,896 |

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2021年11月26日から2022年5月25日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■自社設定投資信託受益証券等の状況等 (2021年11月26日から2022年5月25日まで)

該当事項はありません。

■特定資産の価格等の調査 (2021年11月26日から2022年5月25日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2022年5月25日現在)

親投資信託残高

| 種 類 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|---------------------------|---------|--------|--------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド | 12,127 | 11,028 | 22,339 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

<参考情報>

下記は、当ファンドが組入れているピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド全体(3,703,476千口)の内容です。

外国(外貨建)公社債

(A) 種類別開示

| 区 分 | | 当 期 末 | | | | | | | |
|-----|---------|----------------|----------------|-----------------|-----------|-------------|-----------|--------|--------|
| | | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| ユーロ | ド イ ツ | 千ユーロ 27,560 | 千ユーロ 38,665 | 千円 5,264,262 | % 70.2 | % - | % 70.2 | % - | % - |
| | オ ラ ン ダ | 12,185 | 14,201 | 1,933,571 | 25.8 | - | 10.5 | - | 15.2 |
| 合 計 | | 39,745 | 52,866 | 7,197,834 | 95.9 | - | 80.7 | - | 15.2 |

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、当ファンドが組入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) -印は組入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

| 銘柄名 | 当 期 末 | | | | | |
|---|-------|------|-----------|--------|--------|-----------|
| | 種 類 | 利 率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評 価 額 | |
| | | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| <ユーロ建> (ドイツ)0% BUNDESREPUB. DEUTSCHL | 国債証券 | % | | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 |
| 4.75% DEUTSCHLAND | | — | 2050/8/15 | 300 | 218 | 29,722 |
| 6.5% DEUTSCHLAND | | 4.75 | 2040/7/4 | 10,900 | 17,321 | 2,358,280 |
| (オランダ)3.75% NETHERLANDS GOVERN | | 6.5 | 2027/7/4 | 16,360 | 21,125 | 2,876,259 |
| 7.5% NETHERLANDS GOVT | | 3.75 | 2042/1/15 | 4,185 | 5,804 | 790,238 |
| 合計 | — | — | — | — | — | 7,197,834 |

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2022年5月25日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|---------------------------|--------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド | 千円 22,339 | % 99.2 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 180 | 0.8 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 22,519 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,426,357千円)の投資信託財産総額(7,509,365千円)に対する比率は98.9%です。

(注3) ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1ユーロ=136.15円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月25日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|--------------------------------|-------------|
| (A) 資 産 | 22,519,573円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 179,767 |
| ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド(評価額) | 22,339,806 |
| (B) 負 債 | 66,544 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 59,938 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 6,606 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 22,453,029 |
| 元 本 | 19,645,913 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 2,807,116 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 19,645,913口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 11,429円 |

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

| | |
|----------------|-------------|
| (注1) 期首元本額 | 21,549,925円 |
| 期中追加設定元本額 | 0円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,904,012円 |
| (注2) 1口当たり純資産額 | 1.1429円 |

■損益の状況

当期(自2021年11月26日 至2022年5月25日)

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|---------------|
| (A) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 1,216,837円 |
| 売 買 益 | 45,339 |
| 売 買 損 | △ 1,262,176 |
| (B) 信 託 報 酬 等 | △ 66,544 |
| (C) 当 期 損 益 金 (A + B) | △ 1,283,381 |
| (D) 前 期 繰 越 損 益 金 | 1,645,747 |
| (E) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 2,444,750 |
| (配 当 等 相 当 額) | (10,383,160) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 7,938,410) |
| (F) 計 (C + D + E) | 2,807,116 |
| (G) 収 益 分 配 金 | 0 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (F + G) | 2,807,116 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | 2,444,750 |
| (配 当 等 相 当 額) | (10,383,160) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 7,938,410) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 6,024,534 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 5,662,168 |

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第31期計算期間末における費用控除後の配当等収益(396,851円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(10,383,160円)および分配準備積立金(5,627,683円)より分配対象収益は16,407,694円(10,000口当たり8,351円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注5) 主要投資対象であるマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用

当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.20%以内の額

<お知らせ>

該当事項はありません。

ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・ マザーファンド 運用状況のご報告

第19期（決算日：2021年9月15日）
（計算期間：2020年9月16日～2021年9月15日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド・マザーファンド」は、「ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド（毎月決算型）」、「ピクテ・ユーロ最高格付国債ファンド（3ヵ月決算型）」、「ピクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド（毎月決算型）」、「ピクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド（SMA専用）」および「ピクテ・ユーロ・セレクト・インカム（適格機関投資家専用）」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|-------------|---|
| 主 な 運 用 方 針 | 主としてユーロ参加国の国債に投資することにより、安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主 要 投 資 対 象 | 質の高いユーロ通貨採用国の国債 |
| 主 な 投 資 制 限 | 株式への投資割合 …転換社債を転換ならびに新株予約権を行使したものに限り信託財産の純資産総額の30%以内とします。 外貨建資産への投資割合 …制限を設けません。 |

■最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 | 純資産 総額 |
|-----------------|--------|-------|--------|-------|------------|------------|-----------|
| | 円 | 騰落率 | 円 | 騰落率 | | | |
| 15期(2017年9月15日) | 20,347 | 11.1 | 20,041 | 11.0 | 97.4 | △ 0.5 | 15,536 |
| 16期(2018年9月18日) | 20,377 | 0.1 | 20,057 | 0.1 | 97.6 | △ 1.2 | 13,012 |
| 17期(2019年9月17日) | 19,958 | △ 2.1 | 19,637 | △ 2.1 | 98.0 | △ 1.3 | 10,982 |
| 18期(2020年9月15日) | 21,071 | 5.6 | 20,664 | 5.2 | 98.0 | △ 0.3 | 9,898 |
| 19期(2021年9月15日) | 21,430 | 1.7 | 21,056 | 1.9 | 98.4 | — | 8,782 |

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注2) 参考指数は、FTSE EMU国債指数AAAを委託者が円換算し、設定日（2002年9月25日）を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 債券 組入比率 | 債券 先物比率 |
|--------------------|--------|-------|--------|-------|------------|------------|
| | 円 | 騰落率 | 円 | 騰落率 | | |
| (期首) 2020年9月15日 | 21,071 | — | 20,664 | — | 98.0 | △ 0.3 |
| 9月末 | 20,951 | △ 0.6 | 20,557 | △ 0.5 | 97.8 | △ 0.3 |
| 10月末 | 20,773 | △ 1.4 | 20,388 | △ 1.3 | 97.9 | — |
| 11月末 | 21,067 | △ 0.0 | 20,668 | 0.0 | 97.6 | — |
| 12月末 | 21,491 | 2.0 | 21,083 | 2.0 | 97.0 | — |
| 2021年1月末 | 21,342 | 1.3 | 20,946 | 1.4 | 97.5 | — |
| 2月末 | 21,212 | 0.7 | 20,835 | 0.8 | 98.0 | — |
| 3月末 | 21,334 | 1.2 | 20,958 | 1.4 | 97.5 | — |
| 4月末 | 21,560 | 2.3 | 21,189 | 2.5 | 97.3 | — |
| 5月末 | 21,816 | 3.5 | 21,434 | 3.7 | 96.6 | — |
| 6月末 | 21,519 | 2.1 | 21,144 | 2.3 | 96.8 | — |
| 7月末 | 21,750 | 3.2 | 21,363 | 3.4 | 97.2 | — |
| 8月末 | 21,671 | 2.8 | 21,276 | 3.0 | 97.9 | — |
| (期末) 2021年9月15日 | 21,430 | 1.7 | 21,056 | 1.9 | 98.4 | — |

(注1) 騰落率は期首比です。

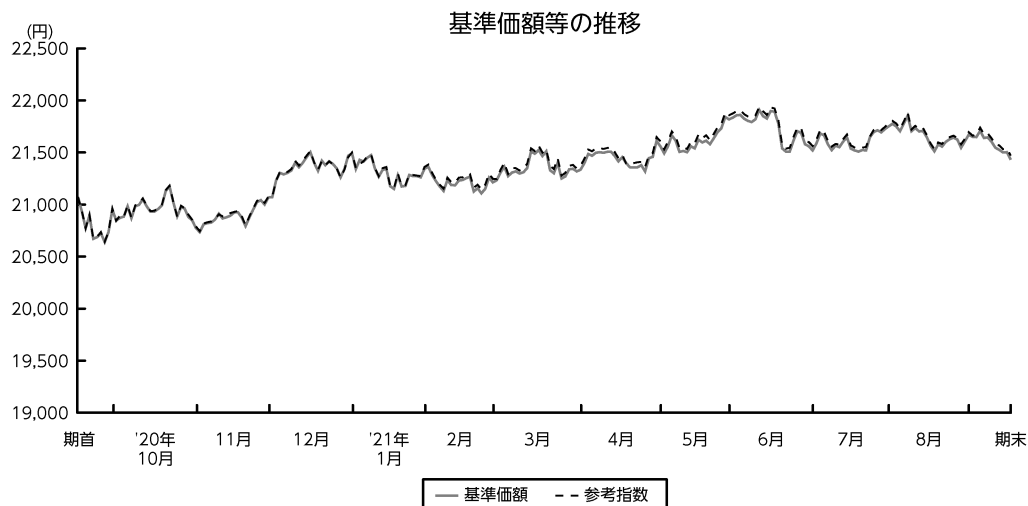
(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 参考指数は、FTSE EMU国債指数AAAを委託者が円換算し、設定日（2002年9月25日）を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針（2020年9月16日から2021年9月15日まで）

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、1.7%の上昇となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

- 上昇↑ ・組入国債からの利金収益
- 上昇↑ ・円に対してユーロが上昇したこと
- 下落↓ ・組入国債の価格が下落したこと

2. 投資環境

- ・ユーロ圏高格付国債市場は、期首から2020年10月にかけては、欧州などで新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されたことなどから、上昇（利回りは低下）しました。その後11月から12月にかけては、米大統領選でバイデン氏が勝利したことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待が高まったことなどを背景に一時的に下落（利回りは上昇）しましたが、底堅い展開となりました。2021年1月から3月にかけては、米ジョージア州における上院決選投票で民主党が勝利し財政支出拡大が意識されたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が早期に資産購入政策の縮小（テーパリング）に踏み切るとの観測が高まったことなどから米国国債利回りが上昇し、それに連れる形で下落（利回りは上昇）しました。5月半ばにかけては、ユーロ圏における新型コロナウイルスワクチン接種が拡大し、経済活動再開に向けた期待が高まったことなどを背景に下落（利回りは上昇）しました。5月半ばから6月半ばにかけては、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁をはじめとしたECB当局者によるハト派（金融緩和を选好）寄りの発言が目立ったことなどをを受けて上昇（利回りは低下）しました。その後8月中旬にかけ

ては、米国が想定よりも早く利上げに転じるとの見方が強まる中、米国国債市場が下落（利回りは上昇）した影響を受けて一時下落（利回りは上昇）しましたが、新型コロナウイルスのデルタ株の世界的な感染拡大や、ECBが緩和的金融政策を維持すると表明したことなどを背景に上昇（利回りは低下）に転じました。8月下旬から期末にかけては、いくつかのユーロ圏における経済指標に改善が見られたことや、インフレ指標が上昇したことなどを背景に金融緩和縮小への政策変更が前倒されることが懸念され、下落（利回りは上昇）しました。

- ・為替市場では、期首から2020年10月は、ユーロ圏の景況感指数が市場予想を下回ったことや、欧州の一部の国や地域が再び都市封鎖に踏み込み景気への影響が懸念されたことなどから、円高・ユーロ安となりましたが、11月から12月は新型コロナウイルスのワクチン実用化に対する期待が高まったことなどから、円安・ユーロ高に転じました。その後3月にかけては、米ジョージア州での上院決選投票で民主党議員が2議席とも勝利したことでドルを買ってユーロなど他の通貨を売る動きが強まったことやイタリア政局不安などから再び円高・ユーロ安になる局面もありましたが、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により経済活動が正常化するという期待感やドラギ前ECB総裁が次期イタリア首相に指名されたことが好感されたことなどから、円安・ユーロ高となりました。

3. 組入状況

主に最高格付のユーロ通貨採用国の国債に投資を行ってまいりました。

◇国別組入比率

【期首】

| 国名 | 組入比率 |
|------|-------|
| ドイツ | 73.2% |
| オランダ | 24.9% |



【期末】

| 国名 | 組入比率 |
|------|-------|
| ドイツ | 68.8% |
| オランダ | 29.6% |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

組入銘柄は、すべてAAA格相当の格付が付されています。

4. 今後の運用方針

(1) 投資環境

欧州では、ユーロ圏主要国で新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大し、経済再開の動きはサービス業の活動を下支えする展開となっています。ただ堅調だった輸出は頭打ちで、ユーロ圏製造業の景況感が高水準ながら減速感が見られます。一方で、ユーロ圏のインフレ率は昨年の低下の反動による面が大きいと見られますが上昇傾向です。このような中、ECBは金融緩和姿勢を基本的に当面維持すると見られます。そのため、独10年国債利回りは、現状水準を中心に変動する展開を想定しています。

(2) 投資方針

ユーロ圏の経済動向を注視しながら、ユーロ通貨採用国の最高格付国債に厳選投資を継続し、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指してまいります。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 (2020年9月16日～2021年9月15日) | | 項 目 の 概 要 |
|---|--------------------------------|-----------------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 平均基準価額 | 21,373円 | — | 期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。 |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0円 (0) | 0.000% (0.000) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 4 (4) (0) | 0.017 (0.017) (0.000) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、先物取引の委託証拠金に係る支払利息その他信託事務の処理等に要する諸費用 |
| 合 計 | 4 | 0.017 | |

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買および取引の状況（2020年9月16日から2021年9月15日まで）

(1) 公社債

| | | | 当 期 | |
|----|---|---------|-------|-------|
| | | | 買 付 額 | 売 付 額 |
| 外国 | ユ | ー | 千ユーロ | 千ユーロ |
| | ド | イ ツ | — | 8,609 |
| | オ | ラ ン ダ | 7,661 | 5,699 |
| | | 国 債 証 券 | | |
| | | 国 債 証 券 | | |

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

| 種 類 別 | | 買 建 | | 売 建 | |
|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 外国 | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| | 債 券 先 物 取 引 | — | — | — | 27 |

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

■主要な売買銘柄 (2020年9月16日から2021年9月15日まで)

公社債

| 当 | | 期 | |
|--|---------|---|---------|
| 買 付 | | 売 付 | |
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 3.75% NETHERLANDS GOVERN 42/1/15(ユーロ・オランダ) | 953,207 | 4.75% DEUTSCHLAND 40/7/4(ユーロ・ドイツ) | 892,629 |
| | | 7.5% NETHERLANDS GOVT 23/1/15(ユーロ・オランダ) | 734,853 |
| | | 6.5% DEUTSCHLAND 27/7/4(ユーロ・ドイツ) | 178,550 |

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2020年9月16日から2021年9月15日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■特定資産の価格等の調査 (2020年9月16日から2021年9月15日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2021年9月15日現在)

外国 (外貨建) 公社債

(A) 種類別開示

| 区 分 | | 当 期 末 | | | | | | | |
|-------------|---------|----------------|----------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------|--------|--------|
| | | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格 以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| ユ ー ロ | ド イ ツ | 千ユーロ 28,800 | 千ユーロ 46,705 | 千円 6,046,898 | % 68.8 | % - | % 68.8 | % - | % - |
| | オ ラ ン ダ | 15,685 | 20,059 | 2,597,151 | 29.6 | - | 10.7 | - | 18.8 |
| | 合 計 | 44,485 | 66,764 | 8,644,050 | 98.4 | - | 79.6 | - | 18.8 |

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) 一印は組入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

| 銘 柄 名 | 当 期 末 | | | | | |
|--------------------------------|-------|------|-----------|--------|--------|-----------|
| | 種 類 | 利 率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評 価 額 | |
| | | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| <ユーロ建> | | % | | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 |
| (ドイツ)4.75% DEUTSCHLAND | 国債証券 | 4.75 | 2040/7/4 | 11,400 | 21,922 | 2,838,267 |
| 6.5% DEUTSCHLAND | | 6.5 | 2027/7/4 | 17,400 | 24,782 | 3,208,631 |
| (オランダ)3.75% NETHERLANDS GOVERN | | 3.75 | 2042/1/15 | 4,185 | 7,290 | 943,871 |
| 7.5% NETHERLANDS GOVT | | 7.5 | 2023/1/15 | 11,500 | 12,769 | 1,653,280 |
| 合 計 | - | - | - | - | - | 8,644,050 |

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2021年9月15日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公 社 債 | 千円 8,644,050 | % 98.3 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 145,338 | 1.7 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 8,789,388 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (8,775,357千円) の投資信託財産総額 (8,789,388千円) に対する比率は99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1ユーロ=129.47円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年9月15日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 8,789,388,518円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 14,160,494 |
| 公 社 債 (評 価 額) | 8,644,050,308 |
| 未 収 利 息 | 128,966,838 |
| 前 払 費 用 | 2,210,878 |
| (B) 負 債 | 6,660,272 |
| 未 払 解 約 金 | 6,660,000 |
| 未 払 利 息 | 38 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 234 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 8,782,728,246 |
| 元 本 | 4,098,278,632 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 4,684,449,614 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 4,098,278,632口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 21,430円 |

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額 4,697,452,575円

期中追加設定元本額 2,223,558円

期中一部解約元本額 601,397,501円

(注2) 期末における元本の内訳

ビクテ・ユーロ最高格付国債ファンド(毎月決算型) 57,707,151円

ビクテ・ユーロ最高格付国債ファンド(3ヵ月決算型) 230,449,441円

ビクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド(毎月決算型) 2,966,270,862円

ビクテ・ユーロ最高格付国債インカム・ファンド(SMA専用) 17,118,327円

ビクテ・ユーロ・セレクト・インカム(適格機関投資家専用) 826,732,851円

期末元本合計 4,098,278,632円

(注3) 1口当たり純資産額は2.1430円です。

■損益の状況

当期(自2020年9月16日 至2021年9月15日)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------------------|---------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 373,333,172円 |
| 受 取 利 息 | 373,412,722 |
| 支 払 利 息 | △ 79,550 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 208,326,469 |
| 売 買 益 | 311,049,185 |
| 売 買 損 | △ 519,375,654 |
| (C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益 | △ 368,245 |
| 取 引 損 | △ 368,245 |
| (D) そ の 他 費 用 等 | △ 1,634,535 |
| (E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D) | 163,003,923 |
| (F) 前 期 繰 越 損 益 金 | 5,200,781,748 |
| (G) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 2,526,442 |
| (H) 解 約 差 損 益 金 | △ 681,862,499 |
| (I) 計 (E + F + G + H) | 4,684,449,614 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (I) | 4,684,449,614 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はありません。